

Rotary



ガバナー月信

Vol.11
MAY 2017

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



「城西大学ローターアクトクラブ認定状伝達式（スポンサー坂戸RC）」2017年4月8日 城西大学水田三喜男記念館



人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー第2570地区事務所

〒355-0028 東松山市箭弓町 2-5-14 紫雲閣 3階

TEL : 0493-21-2570 FAX : 0493-21-2571

E-mail : d-office@mail.rid2570.gr.jp

<https://www.rid2570.gr.jp/>



知恵と元気を

まごころつくせ ひとしらずとも

国際ロータリー第2570地区
2016～2017年度 ガバナー 前嶋 修身



<地域の人々にロータリーを知っていただく>

この標題は私が本年度の第3番目にあげた重点方針です。昨年度の当地区大会でRI会長代理高野孫左衛門さんが指摘されたように、私たち会員が思っている以上にロータリーは地域の人々に知られていません。また、ロータリーはグローバルで、そして地域で、「よいこと」をしていることも残念ながら関係者以外にはあまり知られていません。会員が増えない理由の一つでもあります。

ロータリーが「よいこと」を続けていることがもっと知られてもいいのではと、クラブが所在する地域に対し知恵と工夫を持ち寄り、よく知っていただくための広報や活動呼びかけました。(公共イメージと認知度の向上を)。その例としてガバナー月信でも取り上げましたが、入間RCの活動が2度にわたり埼玉新聞に掲載されました。

この重点方針を公式訪問で説明した際に、あるクラブで先輩ロータリアンから次のようなご質問をお受けいたしました。

「ガバナーはロータリーの広報のことをさかんにおっしゃるが、ロータリーは“陰徳”をもって良しとするのではないのでしょうか。」

ロータリアン個人としての心持はあくまで“陰徳”“であるべきだと思いますが、組織としてのロータリーがどのような活動をしているのか広報し、周りの人々に知っていただかなければロータリーはこの世に存在しないことと同じになります。と、このようなことにお答えいたしました。

続けて、冒頭の句をあげて自分の思いをお話しました。

“あれをみよ みやまのさくら さきにけり

まごころつくせ ひとしらずとも “

この句は私が長い間、座右の銘としている句です。鎌倉時代の詠み人知らずの句だと伺っています。意味するところは“人も行かない深い山の中で山桜が満開の花を咲かせている。あの花のように、人にわからずとも真心を尽くそう”。30代の半ばいろいろと思い悩む時期があったときに、ある本でこの句に出会いました。そうか、それでいいのだ、と思い至りました。そして、40過ぎにロータリーに入りしばらくして、私の座右の銘と、私が理解するロータリー精神の柱が同じことに気が付いたのです。先輩ロータリアンの言われる“陰徳”に通ずるところがあります。

なお、既にお知らせいたしました。鈴木秀憲PGがRIより第1ゾーン担当の「2017-20年度ロータリー公共イメージ・コーディネーター(RPIC)」に任命されました。詳しくは、ガバナー月信1月号をご参照ください。



＜日本のロータリアン100人＞

米山梅吉が友人と東京RCを創ってから（すなわち、日本にRCが創立されてから）、2020年のオリンピックの年に100周年を迎えます。「日本のロータリー100周年委員会（北清治委員長：第2770地区PG、元RI理事）」から、今月、日本全地区のクラブ会長宛てに記念行事等のアンケートが届いています。

この記念行事とは別に、「ロータリーの友」が100周年を記念して「日本のロータリアン100人」を刊行することになり、各地区ガバナーに対し2名の推薦依頼がありました。当地区としまして、来日ミャンマー留学生への奨学基金などのご貢献を表し今泉清詞PG（川越RC）、米山記念奨学生へのご貢献を表し故金子千侍PG（秩父RC）を推薦申し上げ、地区諮問会議、ガバナー補佐会議に報告いたしました。

＜今月は青少年奉仕月間です＞

（インターアクトクラブ）

12～18歳の青少年が学校や地域社会での課題に取り組むために結成する、ロータリークラブが提唱するクラブです。世界200カ国に2万を超えるインターアクトクラブがあり、会員数は47万人に上ります（2017年3月末現在）。第2570地区では7クラブ、約130名のインターアクターが活躍しています。

（ローターアクトクラブ）

18～30歳の青年男女が海外や地域での奉仕活動を目的に結成する、ロータリークラブが提唱するクラブです。1968年3月にアメリカでノースシャロット・クラブが初めて結成され、同じ1968年6月に当第2570地区に国際商科大学ローターアクトクラブ（現川越ローターアクトクラブ）が日本で初めて創立されました。現在、世界では約7千のローターアクトクラブ、17万人の会員。

当地区では、今年4月8日に認定状贈呈式が行われ新たに結成された城西大学ローターアクトクラブ（ガバナー月信・今月号表紙）と、川越ローターアクトクラブの2クラブのみとなっています。

（ロータリー青少年交換）

青少年交換は、14～19歳の青少年が母国以外の国を訪問したり、そこに留学したりする機会を提供するもので、長期交換プログラム（1学年度）と短期交換プログラム（数週間程度）の2種類があります。

当地区の状況につきましては、ガバナー月信にて随時ご報告しています。また、現在の来日（インバウンド）および派遣（アウトバウンド）の学生諸君のプロフィールはガバナー月信1月号にて紹介しています。

（ロータリー青少年指導者育成プログラム：RYLA）

RYLAは、クラブ、地区、多地区合同で組織されるリーダーシップ育成プログラムであり、参加者の年齢には制限はなく、ほとんどの行事は中高校生、大学生、若い成人を対象としています。

当地区では、今年5月21日に紫雲閣において「第11回ライラデー青少年指導者育成プログラム」を予定しています。

参加費無料（ロータリアンのみ登録料2千円）

- ・10：30 点鐘
- ・11：00 講演 テーマ「若者の自立」
講師 阿久根謙司氏（元FC東京 社長）
- ・13：00 ワークショップ
- ・16：00 閉会

会員および若人のご参加をお待ちしています。

『2016年 規定審議委員会』報告

R I D2570 2016 規定審議会委員
立原 雅夫（川越 RC：パストガバナー）



国際ロータリーの規定審議委員会は、2016年4月10日～15日にアメリカ・イリノイ州シカゴにてジョン・ヒューゴ事務総長の招集のもと、開催されました。世界の約530のエリアから委員が参加され審議会は行われました。今審議会は、計181件の立法案が審議されました。この中には117件の制定案と64件の決議案がありました。

これらのうち47件の制定案および14件の決議案を採択いたしました。その内容は、3件の立法案をRI理事会に委ね、5件の審議を無期延期、53件の立法案は否決、他は審議撤回となりました。この決定は、2016年7月1日に有効になりすべてのロータリアンに適用されました。内容詳細は www.rotary.orgにてご確認ください。

R I D2570 地区からの、立法案3件について報告します。

①16-09 「クラブ入会金の規定を改正する件」 川越RC

この件は、直前の16-07 フランスRID1720より「入会金を廃止する件」が僅か4票差で可決したため、同様の内容のため撤回いたしました。

*我が川越クラブであり、その責任は重大であり、可決するべき説明をかなり考えたのに、空振りに終わりガッカリ！

②16-35 「出席免除の規定を改正する件」 和光RC

*会員の在籍年数と年齢の合計が85以上の関係改正であり、ジョークも交えて説明することができ、見事に賛成多数で承認され、ほっとしました。

③16-41 「仕事をしたことの無い人が会員となることを禁じるよう、会員基準を改正する件」

熊谷東RC 他3RC(日本) 3件 (フランス) の共同提出

*この件は、フランスが代表で発表しましたが国際的理解が統一されず、事務局より協議の延期となりました。仕事の定義が一定せず、次回に延期テーマとなり残念でした。

立原・雑感！ 特にRID2570地区の案件には、可決のためにかなり真剣にその理由と対策を毎日考えました。一生懸命マイクに立ち説明をいたしましたが、以上のような結果になりました。でも、世界的にも共通の悩みがあり、参考になりました。

この審議会に参加して、審議中の基本的状況を報告します。

国際ロータリーは今年で創立112年を迎えます。この間世界は大きな戦争、経済情勢や社会状

況の大きなうねりの中で歴史が繰り返されてきました。1905年のP.ハリスによって開かれた初例会から、RIはいつの時代も世界の大きな変化に対応してきました。最近の世界情勢も大きく変化し、テクノロジー、医療、社会情勢などは変化し続けています。今、世界のロータリーはこれらに様々な活動を展開し、世界平和に向かって行動しているものと確信します。また、コンピューターや通信技術の発展は各地のロータリークラブの存在意義、また情報の展開方法に大きな変化をもたらし、例会の形や出席方法、例会回数などロータリー活動の変化にも大きな影響を示しています。eクラブやエリアの無い広域クラブ、また若者を中心とした独特な運営クラブなどが新展開・活動を展開しており革命的な“R新時代”の到来と思います。この審議会でも、これらの新ロータリーについての各報告・提案があり興味深いものでした。

RIは数年前より、「Club Leadership Plan」のプログラムの展開をしています。

地球サイズはととてもグローバルになり、小さくなり国・地域・民族を超えて情報の共有化が容易に行えるようになりました。そこで、その活動も広域的な各地区で統一のテーマより、各地域・マチに各地に存在するロータリークラブが地域に密接な関係を有効に活用して活動し、特徴を生かし展開するように推進しております。それが、CLPです。このため、各RCは各地域に根付いた活動を第1にすべきとしています。このような時代背景の対応としてRID2570の未来を再検討してもよいと感じます。

近年、ロータリー活動の広がり、さらに世界各地域に広がりを見せています。以前ロータリー活動は、当初アメリカで発祥した後、豊かなヨーロッパに早く展開されました。その後敗戦から復興した日本やアジア、中南米など先進諸国に普及しました。そしてロータリー活動が比較的豊かな国々に展開された時代が長く、その活動も世界的に安定しておりました。しかし、今回の参加で感じたことは、最近、以前よりインド、フィリピンやブラジルなどの新鋭諸国がロータリー活動に活発化し、クラブ数や会員を驚くほど拡大させています。むしろかつての先進国は減少しており、ロータリーの理念も変化をしていると思います。

今回、「2016年 規定審議委員会」に参加して、上記のような考えを強く感じました。

今後のロータリー活動を予想すると、世界情勢は、政治や思想、テロや経済の不安定など「混沌」としており、「混乱」な世界にならなければよいと心配しています。

早急に、「新しい世界に対応したロータリーを確立し、世界の未来に躍進する」ことを希望し、報告とさせていただきます。



ロータリー財団の思い出と 平和フェロー 金子由佳さん

野中 弘之（熊谷東 RC：パストガバナー）



上記テーマを前嶋ガバナーより頂いた。財団部門は、かつて情熱を注いで取り組んだ青少年の国際交流（日豪、日比、青少年交換）の国際奉仕部門に次いで期間的には長い。

巡り合わせというのか、二度の機会とも財団がその方向を大きく変えた年度でした。

- 高山年度（2003～'04年）財団部門委員長の指名を頂いた。経験のない不安はあったが、これまでの青少年奉仕の仕上げとしての財団奨学生を考えてお引受けしました。顧みると、この年度から財団の流れが変わり始めたと思う。

1) WF（世界活動資金）と3年後に地区に戻るDDF（地区活動資金）の比率が4:6から5:5になる。

2) DDF（地区活動資金）のなかに20%を限度にクラブの奉仕活動をサポートする地区補助金が新設された。その結果前年度8名選出された奨学生は4名に半減した。

- 中井年度（2013～'14）担当諮問として関わる。ご存知の通り、「未来の夢計画」が完全実施された年です。

ロータリー財団はDDFは教育的プログラム、WFは人道的プログラムの両輪で運営されていた流れは、この「未来の夢計画」で「六つの重点ポイント」のもとほぼ人道的プログラムに集約されたといえると思う。

この方向については意見もあると思われるが、次に世代を担う人たちの育成こそロータリーの活動にふさわしいと思い続けてきたものにとっては、まことに残念なことであります。国情や地域によるニーズは様々、地区に戻されるDDFにはRIとしてあまり制約をかけてほしくないというのが個人的な望みです。

ロータリー財団とかかわる中で忘れられない出会いの一つに、現在NGO（日本国際ボランティア

アセンター) のパレスチナ現地代表として活躍している平和フェロー金子由佳さんがある。2007年だったと思う。弓田財団部門委員長から、平和フェローの応募者があり、熊谷出身の女性なので推薦クラブとカウンセラーの依頼があった。会ってみると拙宅のすぐ近くの人で、名門恵泉女子大学を首席で卒業した才媛であった。応募したきっかけは主任教授からの推薦であったとのこと。

由佳さんは高校2年の時、フィリピンを訪れて貧しい暮らしの子供たちが沢山いて、不思議なことに皆笑顔で迎えてくれることに心をうたれ、自分の将来を恵まれない人たちに役立てたいと心を決めたという。

平和フェローは地区でどうこう出来るものではなく、由佳さんの志望の修士コース(2年)は世界で60名という超難関です。彼女の強い意志と努力、そして財団関係委員諸兄の励ましもあって2年で合格、オーストラリアのクイーンズランド大学院で「紛争予防と平和学」を修め、修士号を取得した。実習の地として内紛で大量虐殺のあったアフリカのシオラレオネを選び、活動の場としてはイスラエルとの紛争の絶えないパレスチナのガザ地区に置き、母子の教育と健康のため現在活躍している。到底真似のできない由佳さんの恵まれない人達のために活動する姿には、はらはらすることと感動あるのみです。

昨年11月27日丸の内JPタワーに於いて、RI会長ジョン・ジャーム氏を迎えて開催された「ロータリー財団100周年記念シンポジウム」では、5人のシンポジストのひとりに選ばれた由佳さんの発表は実に堂々とした素晴らしいものであった。(「ロータリーの友」1月号24～27ページに概略。)

その証拠に、終わった後、由佳さんは全国から集まった大勢のロータリアンに囲まれて私たちも近づけないほどでした。

彼女は近年2570地区から巣立った最高の奉仕活動のスターであり、ランドマーク的存在であると言ったら褒めすぎでしょうか。

ロータリーの本来の姿は大海に目薬を落とすような支援ではなく、5人のシンポジストのような人たちをひとりでも多くつくることではないのかとその会場でつくづく考えました。



最前列 右から3人目が金子由佳さん



右から2人目が金子由佳さん

100周年を迎えた ロータリー財団

ロータリー財団担当諮問委員
石川 嘉彦（入間RC：パストガバナー）



1917年アーチ・C・クランプ第6代国際ロータリー会長がロータリー財団の設立を提唱しました。財団創立100周年を記念して本年度 国際ロータリーでは財団の豊かな歴史をそれぞれの地元で祝うことを強く推奨しています。

祝賀のアイデアは例えば

- ・地元市民を招いて特別な「ロータリーデー」を開く。このイベントは、コンサートやお祭りなど、さまざまな形で企画できます。
- ・財団補助金プロジェクト、ロータリー平和センター、ポリオプラスを支援するための募金活動を地元で実施する。
- ・グローバル補助金や地区補助金のプロジェクトを実施または参加する。

R財団の使命とは「地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」

ロータリー財団のプログラム

1. 人道的プログラムにはマッチング・グラント（同額補助金）地区補助金 保険、飢餓追放および人権性尊重補助金（3-H補助金）
2. 教育的プログラムには国際親善奨学会 研究グループ交換(GSE) 現在は職業研修チーム(VTT)
3. ポリオ・プラス・プログラム（ポリオ はしか ジフテリア 結核 百日咳 破傷風）

現在は特別にポリオの撲滅を目指したポリオ・プラス・プログラムが一番大きなプロジェクトです。これは1985年から始められ、ロータリー創立100年の2005年までに地球上からポリオを撲滅しようとしたのですが、いまだに撲滅できておりません。

財団への寄付の種類

年次寄付（3年後に50%は地区に帰る） 恒久寄付（基金に繰り込まれ運用収益だけが支援に使われる）
使途指定寄付（例えばポリオを指定する）その他
ロータリー財団遺贈友の会（遺言によって財団を指名する）
ロータリークレジット・カード（クレジット・カードの利用金額の0.3%が財団へ寄付される）
財団の友（年次寄付へ毎年100ドルの寄付を約束する）

前嶋修身ガバナー年度のR財団地区委員会は

- 部門委員長 柴崎典一
 - ・推進委員会 笹木弘治委員長 他4名の委員（寄付推進プログラム）
 - ・補助金委員会 茂木 聡委員長 他4名の委員（人道的プログラム）
 - ・奨学学友委員会 福山健朗委員長 他4名の委員（教育的プログラム）
 - ・資金管理委員会 細瀬克則委員長 他4名の委員（地区補助金プログラム）
- の構成になっております。



ロータリーが目指す「国際奉仕」とは

加藤 玄静（本庄 RC：パストガバナー）



ロータリーの冠は「国際」であります。国際理解、親善、世界平和を推進する事が目的の第一義であるからであります。

ポリオプラスへの貢献から、青少年交換生の留学での異文化適応の支援まで、さまざまな活動があります。

国際奉仕は概念上、次のように分類できるのでは無いでしょうか。

- 1. 世界社会奉仕プログラム
- 1. 国際レベルの教育、文化交流活動
- 1. 特別月間に行う催し
- 1. 国際的な大会や諸会合

さらに具体的なプロジェクトとして、次の四つがあります。

- 1. 災害支援及び復興への援助
- 2. ロータリーの友情交換
- 3. 世界ネットワーク活動グループ
- 4. 世界社会奉仕プロジェクト

以上の事は理屈・理論であり、ロータリークラブではこれ等を実践しなければ「絵に描いた餅であります」。

それには、「ロータリー財団」や、「ロータリー米山記念奨学会」の制度の活用が必要不可欠である事は言うまでも有りません。

ロータリーはアイサーブと言われておりますので、別の観点から二つの国際奉仕を紹介致します。

一つは、パストガバナー今泉清詞氏が10年以上継続されている、「今泉記念奨学会」の事業の推進であります。ミャンマー出身の大学生に対し、卒業までの間毎月5万円を支給し、全て自費であり既に2億円になろうとしております。

御蔭で歴代駐日ミャンマー大使を通じ、日本との交流は非常に友好的で、毎年総会や新年会を開催し、学生のOBは勿論の事、地区内ロータリアン、地域の交際交流協会の方々との交流は素晴らしい物であります。

特に毎年開催されます「地区大会」には欠かさず参列を賜っております。

私的な事ですが、私は地域に於いて「誰でもできる小さな国際ボランティア」運動を推進しています。具体的に説明しますと「アフリカへ毛布をおくる運動」であります。

この運動を展開する為に、自治会より全市に回覧板を回して頂き、多くの市民より毛布又は輸送費の協力を得ております。

アフリカは暑い地域ばかりで無く、エチオピア・ジブチ・ウガンダといった高原地帯では、日中は40度を超える炎天下ながらも、朝晩は3度まで冷える寒暖の差が激しい気候での生活なのです。

この二つの事例を見ても、まだまだ多くのプログラムが考えられるのでは無いでしょうか。繰り返しますが「理論」より「実践」がロータリーに求められているのです。

新米山記念奨学生オリエンテーション及びカウンセラー会議

ロータリー米山記念奨学部門委員会 委員長 忽滑谷 明 (入間RC)

4月1日(土)～2日(日)に国立女性教育会館に於いて、2017学年度米山奨学生のオリエンテーション並びにカウンセラー会議を実施いたしました。

オリエンテーションでは、16名の奨学生に対し3つのグループ分けをし、ロータリークラブの概要、ロータリー米山記念奨学会について、また奨学生の心構えや世話クラブ、カウンセラー制度について、そして米山記念奨学部門の活動と学友会の活動についてなど、それぞれ各セッションごとにRLI方式で研修を行いました。

2日午後からのカウンセラー会議では、各世話クラブのカウンセラーさんと奨学生との初対面となりました。併せて「米山記念奨学生となって」というテーマで、まだ緊張が解れない奨学生全員から3分間スピーチをしていただきました。

新奨学生達は、4月より各世話クラブにお伺いお世話になります。また、米山月間での各クラブでの卓話や地区の行事等でお世話になると思います。ロータリアンの皆さんの暖かいご指導を宜しくお願い申し上げます。



2017～2018年度 第2570地区 RC米山記念奨学生



イस्कンダル アブドバリ

- ホストRC 川越RC
- 出身国 中国・新疆ウイグル
- 派遣先学校 東京電機大学
- 愛称 アブ

チン ケイ コウ
陳 慶 光

- ホストRC 東松山RC
- 出身国 台湾・台北
- 派遣先学校 立教大学
- 愛称 チェン

カン セイ リュウ
関 成 龍

- ホストRC 坂戸RC
- 出身国 中国・大連市
- 派遣先学校 尚美学園大学
- 愛称 ジャッキー



アンジャナ ラズバンシ

- ホストRC 越生毛呂RC
- 出身国 ネパール
- 派遣先学校 東京国際大学
- 愛称 アンジャナ



アブドゥルラヒン ヌルシュハダー

- ホストRC 坂戸さつきRC
- 出身国 マレーシア
- 派遣先学校 東京電機大学
- 愛称 シュハダー

チン イ ハン
陳 伊 涵

- ホストRC 富士見RC
- 出身国 台湾・台北
- 派遣先学校 尚美学園大学
- 愛称 ルル



ヴウテウイリン

- ホストRC 和光RC
- 出身国 ベトナム
- 派遣先学校 十文字女子大学
- 愛称 フグちゃん

リ シュウ ミ
李 秀 美

- ホストRC 入間RC
- 出身国 中国・吉林省
- 派遣先学校 西武文理大学
- 愛称 シュウミ



ラービアッズアリ

- ホストRC 飯能RC
- 出身国 ミャンマー
- 派遣先学校 駿河台大学
- 愛称 ズアリ



グエン ラン チ

- ホストRC 新所沢RC
- 出身国 ベトナム
- 派遣先学校 西武文理大学
- 愛称 チ

ヨウ トウ リン
楊 東 霖

- ホストRC 入間南RC
- 出身国 中国・黒龍江省
- 派遣先学校 早稲田大学
- 愛称 ヨウヨウ

ホ ロ ワ
胡 日 瓦

- ホストRC 狭山中央RC
- 出身国 中国・内モンゴル
- 派遣先学校 大東文化大学
- 愛称 ホロワ



フスナ, ジャンナ, トゥール

- ホストRC 本庄RC
- 出身国 バングラデシュ
- 派遣先学校 埼玉大学
- 愛称 ティーシャ



ハシチョ, ルン, パダムガラバ

- ホストRC 秩父RC
- 出身国 モンゴル
- 派遣先学校 東京国際大学
- 愛称 バダー

キ シ リ カ
貴 麗 華

- ホストRC 熊谷RC
- 出身国 中国・吉林省
- 派遣先学校 埼玉工業大学
- 愛称 リカ

コウ ゲツ リン
黄 玥 琳

- ホストRC 熊谷東RC
- 出身国 中国・広東省
- 派遣先学校 立正大学
- 愛称 コウちゃん

RI第1・2・3ゾーン 会員基盤向上セミナー参加報告

クラブ奉仕部門委員会 委員長 木村 雅啓 (入間RC)

3月27日～28日とホテルオークラ東京において、RI会員基盤向上セミナーが行われた。毎年、会場まで六本木の桜を眺めながら歩くのも楽しみの一つとしていたが、今年はまだ満開までには程遠く、挙句に無情の雨が降る中、少し残念な研修への道すがらであった。

初日は、公共イメージと会員増強に関する内容が主である。今回のセミナーでは、RIの戦略計画を受けて日本のロータリークラブも積極的に戦略計画を立案し、実行していくことが必要だ、というメッセージを強く感じた。

公共イメージについてのプログラムでは、公共イメージ向上のための方法論や実践例が発表された。「マスメディアに取り上げられるプロジェクトを考える」「ロータリーを簡潔に説明できる言葉を見つける」など当地区でもガバナーから提唱されていることではあるが、実施され成果が表れるまでには地道な活動が必要と思う。現在のRIが公共イメージ向上に力を入れていることは、戦略計画の3つの優先項目の一つに取り上げていることをみても周知の通りだが、イメージ向上、認知度のアップはロータリーの変革のために必要不可欠なものだと改めて感じた。

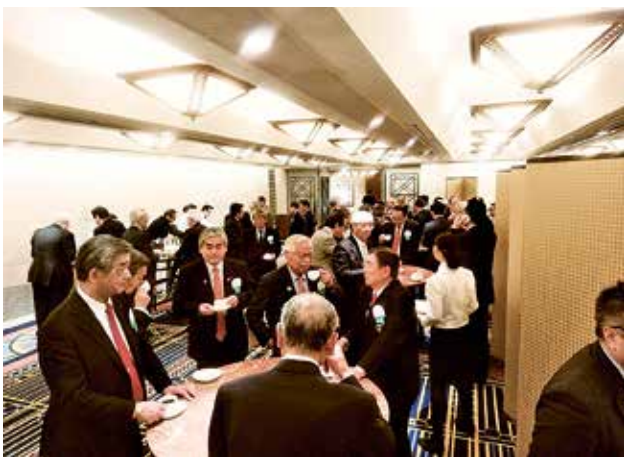
会員増強についてのプログラムでは、増強の成功事例、手法などが発表された。注目される事例の一つを挙げてみる。本田博己2840地区パストガバナー（前橋RC）が前橋RCの21世紀委員会活動を「クラブ戦略計画とこれからのロータリー」と題し紹介した。これは、2003年にクラブ創立50周年を節目に立上げ、現状把握と課題を明らかにすることで、今後さらなる飛躍を図ることを使命に活動を始めたものだ。会員減少が進み、情報化の進展など時代が大きく変化していく時期に、いち早くクラブ改革に着手した。3期にわたる、その成果の総括として「会員満足の向上に継続的に取り組めば、クラブ組織は強化できる！」と結んでいる。事実会員は増強され日本の代表的なクラブとなっている。この活動は、今提唱されている「戦略計画の立案」への取り組みそのものといえる。我々2570地区クラブ奉仕部門としても参考となる事例であった。

また、水野功会員増強計画プロジェクトリーダーの元気なクラブづくりに「多様性」が重要だとの話は、規程審議会でも入会金、例会回数などクラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定がなされた現状を肯定的に活用することの意味を説いているものだと感じた。柔軟な発想でクラブ改革に取り組むことがロータリーの将来を築いていくことなのだろう。

今回のセミナーでは、当地区の鈴木秀憲次年度ロータリー公共イメージコーディネーターから「地域社会での奉仕プロジェクト」について、坂本元彦ロータリーコーディネーター補佐から「会員増強成功クラブの取り組み」について発表があった。分かりやすく説得力のある内容であった。当地区から二人もロータリーリーダーとして登壇することに誇りを覚えた。

2日目はロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる発展の為にと題して開催された。内容は、ロータリー平和フェローについて、グローバル補助金によるプロジェクトの活動報告、財団100周年記念事業の報告などが行われた。

経験を積んだ見識ある方々の報告、発表が拝聴でき充実したセミナーであった。帰り道の桜が少し膨らんだように感じた。



第2回ロータリー財団地区セミナー・補助金管理セミナー報告

ロータリー財団部門委員会 委員長 柴崎 典一（深谷 RC）

過日の3月18日(土)午後1時30分より、比企郡嵐山町にある国立女性教育会館に於いて第2回ロータリー財団地区セミナー及び補助金管理セミナーを開催致しました。今回のセミナーは、次年度会長とクラブ担当委員長を対象としたセミナーで、総勢90名の参加がありました。開始にあたり前嶋ガバナーよりご挨拶を頂き、細井ガバナーエレクトより次年度ロータリー財団の目標が発表されました。財団部門の詳細研修では、各委員長より担当ごとの発表と要請を行いました。ポール・ハリス、ソサエティへの参加依頼とロータリー財団の現状報告、次年度寄付金目標（1名あたり年次 \$150、恒久 \$30、ポリオ \$30）の協力依頼、次年度地区補助金の申請期限5月28日まで（1クラブ \$800.）とし、今年度の活動実績例、報告書提出時の注意点、財団奨学生の現状報告と次年度の派遣予定、募集要項等の説明を行いました。最後に派遣奨学候補生の須山恵理香さんと大澤悠子さんより留学にあたっての抱負をスピーチ頂き、セミナー終了となりました。参加者一同に感謝。



地区立法案検討会（2013年規定審議会名称地区協議会）開催報告

ガバナー 前嶋 修身

2017年4月15日東松山市紫雲閣において、2017年7月1日～2020年6月30日までの任期を務める、決議審議会と規定審議会の代表議員と補欠議員を選出する為に、国際ロータリー細則第16.040.1に基づき、下記決議案件につき標記検討会を開催し、選挙人満場一致をもって承認可決した。その他として、栗山昇地区戦略計画委員より2019年規定審議会立法案についてクラブ提案手続き等の概略説明があり、その後、2013年規定審議会の代表議員であった加藤玄静パストガバナーが出席されておりましたので、当時の規定審議会審議状況についての報告があった。

記

1. 決議案件その1

国際ロータリー細則第9.060.1の規定により、2017年、2018年、2019年決議審議会、2019年規定審議会の代表議員および補欠議員を選出するために指名委員会を設置し、指名する。

2. 決議案件その2

指名委員会の構成委員は、「石川嘉彦 真下和男 加藤玄静 立原雅夫 高柳育行」5名のパストガバナーとし委員長は、互選で決定する。



第一グループ「インターシティーミーティング」

第一グループガバナー補佐 中嶋 清 (鶴ヶ島RC)

テーマ「奉仕の心で地域を活性化」

国際ロータリー 2570 地区、第一グループインターシティーミーティングを3月12日(日)坂戸グランドホテルで開催いたしました。鶴ヶ島市長藤縄義朗様、衆議院議員山口奏明様、前嶋修身ガバナー様をはじめ多くの来賓の皆様をお迎えして、また11クラブのロータリー会員の皆様が多数集いました。

第1部は式典が行われ各クラブの会長様に熱心に事業報告をしていただきました。第2部では祈念講演に元ソフトボール日本監督の宇津木妙子さんを迎えての記念講演をしていただきました。シドニーオリンピック銅メダル、アテネオリンピック銀メダル他数々の実績の裏の苦労話をしていただきました。中でも子供をしっかりと向き合いことが大切、あきらめないで努力をしていれば努力は裏切らないという言葉が印象的でした。講演を聞いて今までソフトボールにたずさわっている宇津木妙子さんの姿に感動しました。第3部では懇親会の乾杯の前に派遣地区補助金奨学生須山恵理香さんのミニコンサートでは美しい歌声に堪能しました。懇親会ではロータリーアンが和やかに楽しいひと時と親睦を深めました。第一グループ各クラブの会長様他皆様に心より感謝申し上げます。



第7回ガバナー補佐会議報告

第一グループガバナー補佐 中嶋 清 (鶴ヶ島RC)

日時 平成29年3月21日(火) 17:30～19:30

場所 助六(東松山市)

- 議題
1. 「日本のロータリー100周年委員会」の件
 2. NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会(RIJYEC)が他地区合同奉仕活動であることを承認する件
 3. ロータリーの友「日本のロータリーアン100人」の件
 4. 地区立法案検討会の件
 5. 会長・地区役員合同会議の件
日時:平成29年6月25日(日)16:00時
場所:熊谷キングアンバサダーホテル

各ガバナー補佐から、活発な審議と意見交換が行われました。会議後、懇親会が行われました。

出席者 前嶋修身ガバナー、地区副幹事 小林 肇
第一グループガバナー補佐 中嶋 清
第二グループガバナー補佐 武藤典夫
第三グループガバナー補佐 野本俊光
第四グループガバナー補佐 佐橋正行
第五グループガバナー補佐 湯本茂作



スプリングキャンプおよび第9回オリエンテーション

青少年交換委員会 委員長 竹内 英明（富士見RC）

一泊のウインターキャンプに引き続き、スプリングキャンプを3月30日から4月1日にかけて2泊3日で奈良、京都で行いました。

派遣生は派遣までの期間が半年を切りました。また同時に来日学生も帰国までの期間も残り少なくなってきました。両方の学生ともにこの大切な時期を有意義に過ごすために、毎年、桜開花のこの時期に日本の素晴らしい文化や伝統を学び、体感する機会としてスプリングキャンプを開催しております。参加は今年夏に派遣される第47期派遣生の5名、来日学生の4名、ローテックス5名およびロータリアン3名でした。

昨年は経費削減のために夜行バスで京都まで行きましたが、新幹線も日本の特記すべき交通機関であることから、今年は新幹線で京都まで行きました。

一日目は奈良をで、法隆寺や東大寺および奈良公園などを見学し、二日目には京都で、清水寺、銀閣寺、金閣寺および嵐山などを散策しました。三日目は午前中自由行動としました。これは自分から行動する大切さを実践するために、自分たちで計画して、自分たちで行動することを実践しました。

日本の代表的な文化財などを知識として見学体験して有意義な時間を過ごしていましたが、その他に長い時間をみんなで共有しながら話をする中で、それぞれの学生の知識もかなり増え、とても貴重な時間を過ごせたものと考えております。

4月9日には第9回オリエンテーションとして細井ガバナーエレクトをお迎えして、国立女性会館で行いました。このオリエンテーションでは先程行われましたスプリングキャンプの報告が宿題となっておりまして、来日学生、派遣生が宿題発表しました。

来日学生の中では有名な文化財を直接見学出来て感動したことなどの発表がありましたが、その中でインドネシアから来ているキキ君は数年後に母国で開通する新幹線に乗れたことに感激していたことが印象的でした。また、派遣生の中では派遣先でプレゼンする資料として十分になりそうな写真を撮っており、またそれについて自分で勉強したことを付け加えて発表しており派遣に向けての準備もすすんでいる事が分かりました。

宿題発表の後は危機管理としてこれから経験する派遣先まで辿りつくまでの様々な難題や派遣先での危険に対する対処法などをこれまで経験を積んできたローテックスからレクチャーをしてもらいました。



米山表彰



米山功労者(3回目)
市之瀬 正靖
(志木RC)



米山功労者(5回目)
飯田 富夫
(志木RC)



米山功労者(3回目)
金剛 光裕
(志木RC)



米山功労者(3回目)
佐藤 秀弘
(朝霞RC)

訃報



橋田パストガバナー(2004～2005)におかれましては
2017年3月14日ご逝去されました。

橋田 弥寿男 様(深谷RC)享年92歳

謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を



青山学院緑岡初等学校正門と校舎

設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

〔開館時間〕午前10時～午後4時
〔休館日〕月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。



新会員のご紹介



氏 名 佐藤 輝武
 クラブ名 入間RC
 入会年月日 2017.3.23
 勤 務 先 埼玉りそな銀行 入間支店
 紹 介 者 齋藤 金作



氏 名 國藤 和彦
 クラブ名 秩父RC
 入会年月日 2017.4.4
 勤 務 先 損害保険ジャパン日本興亜(株)
 秩父支社
 紹 介 者 中原 乾一郎



氏 名 荻野 真仁
 クラブ名 寄居RC
 入会年月日 2017.1.10
 勤 務 先 (株)荻野商店
 紹 介 者 中川 武
 柴崎 猛



氏 名 金岡 悟
 クラブ名 所沢西RC
 入会年月日 2017.3.14
 勤 務 先 秀栄建設(株)
 紹 介 者 本橋 源太郎



氏 名 内野 忍
 クラブ名 所沢西RC
 入会年月日 2017.3.14
 勤 務 先 産経建設(株)
 紹 介 者 本橋 源太郎

「アイバンク」に献眼の登録を

社会奉仕部門アイバンク委員会 委員長 春山茂之

角膜を提供して下さる方は少なく、現在日本全国で角膜移植が必要な数万人の患者さんに対して、年間約3千件の角膜移植手術が行われるにとどまっています。しかも半数はアメリカからの輸入角膜です。

角膜の寿命は約200年、角膜技術の進歩によりほぼ90%以上が透明化できるようになっています。1人の提供者により2人の患者さんを救うことができます。しかし、どんなに技術が進歩しようと、提供者がいなければ全く進まないのが角膜移植なのです。

残念ながら、埼玉県は全国の中で提供者が大変少ない県となっています。ぜひ、会員の皆様におかれましては、「アイバンク」のことをもっと知っていただき、「アイバンク」へのご協力（登録）をご検討いただければ幸いです。

<献眼登録の申し込み方法>

第2570地区事務局（社会奉仕部門アイバンク委員会）宛てご連絡ください。ご案内いたします。

5月のスケジュール

12	金	県知事表敬訪問・財団留学生 (知事公館)
12	金	財団部門：次年度奨学生第1次選考試験
20	土	財団部門：次年度奨学生第2次選考試験
21	日	熊谷南RC創立20周年式典 熊谷ガーデンパレスホテル
24	水	寄居RC創立50周年記念式典 木暮旅館
27	土	新狭山RC30周年式典 新狭山ホテル
27 28	土 日	第2820地区大会

6月のスケジュール

1	木	県知事表敬訪問・交換留学生 (知事公館)
3	土	坂戸RC 50周年式典
4	日	米山記念奨学部門 学友総会
8 15	木 木	アトランタ世界大会 ジョージア州アトランタ
11	日	青少年奉仕部門 青少年交換閉講式
17	土	R財団部門 合格者アプリケーションガイダンス
17	土	R財団部門 第5回オリエンテーション
25	日	クラブ会長・地区役員 合同会議 熊谷キングアンバサダーホテル

地区ホームページをご覧ください。

パソコン、タブレット、スマートフォンから
「rid2570」で検索して下さい。

rid2570



5月のロータリーレート
1 \$ = 110円

ガバナー月信 No.11
2017.5.1 発行

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

ガバナー月信事務局

〒360-0815 埼玉県熊谷市本石 1-78 株式会社三興社印刷所内
TEL : 048-521-4558 FAX : 048-522-2935
E-mail : letter2570@ae.wakwak.com

3月度 出席率及び会員数報告

クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数(人)									
		3月	通算	年初	3月末	3月入会数	3月退会者	本年度入会数	本年度退会者	3月度純増数	本年度純増数	女性会員	
第1グループ	川越	3	80.91	79.67	89	90	0	2	6	5	-2	1	0
	東松山	3	86.43	84.00	26	26	0	0	0	0	0	0	1
	小川	5	65.70	74.62	8	8	0	0	0	0	0	0	1
	坂戸	4	100.00	85.84	29	30	0	0	1	0	0	1	1
	越生毛呂	4	61.70	73.42	16	16	0	0	1	1	0	0	2
	川越小江戸	4	97.75	93.58	15	14	0	0	0	1	0	-1	1
	川越西	4	76.15	76.42	14	17	0	0	3	0	0	3	0
	鶴ヶ島	4	89.00	88.11	30	31	1	0	1	0	1	1	3
	川越中央	3	69.67	77.48	32	30	0	0	0	2	0	-2	0
	坂戸さつき	2	71.70	77.38	18	26	0	0	8	0	0	8	4
	東松山むさし	3	92.79	91.81	39	41	1	0	2	0	1	2	6
合計(11RC)		81.07	82.03	316	329	2	2	22	9	0	13	19	
第2グループ	朝霞	3	98.81	93.15	31	30	0	0	0	1	0	-1	0
	志木	5	95.21	94.05	45	47	0	0	5	3	0	2	0
	富士見	4	84.50	84.62	47	47	0	0	1	1	0	0	0
	新座	3	92.93	85.42	30	28	0	0	1	3	0	-2	2
	和光	3	76.19	89.41	7	7	0	0	0	0	0	0	3
	朝霞キャロット	3	85.71	85.18	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	志木柳瀬川	2	90.00	86.03	10	10	0	0	0	0	0	0	4
	新座こぶし	4	81.20	81.08	12	12	0	0	0	0	0	0	1
合計(8RC)		88.07	87.37	196	195	0	0	7	8	0	-1	10	
第3グループ	入間	5	70.00	79.90	42	44	1	0	3	1	1	2	2
	所沢	3	76.49	71.44	55	56	1	2	6	5	-1	1	4
	飯能	4	89.70	89.70	54	58	0	0	4	0	0	4	0
	新所沢	3	91.03	90.14	19	20	0	0	1	0	0	1	1
	日高	4	87.99	79.03	17	17	0	0	0	0	0	0	2
	所沢西	3	89.20	90.03	27	28	2	1	2	1	1	1	1
	新狭山	3	75.86	78.68	14	17	0	0	5	2	0	3	0
	所沢東	5	85.71	89.30	38	42	0	0	4	0	0	4	3
	入間南	3	73.77	70.15	40	41	0	0	3	2	0	1	0
	所沢中央	3	93.30	94.43	29	27	0	0	0	2	0	-2	3
	狭山中央	4	80.13	77.18	35	32	0	0	0	3	0	-3	7
合計(11RC)		83.02	82.73	370	382	4	3	28	16	1	12	23	
第4グループ	深谷	4	64.60	69.44	57	55	0	0	0	2	0	-2	11
	本庄	4	74.00	76.37	72	72	0	0	2	2	0	0	4
	秩父	4	74.40	76.84	52	53	0	2	4	3	-2	1	1
	寄居	4	84.82	86.54	27	28	0	0	1	0	0	1	0
	児玉	2	83.33	83.94	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	岡部	4	75.81	86.03	15	15	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	4	67.90	66.97	69	69	0	0	0	0	0	0	0
	川本	3	67.00	74.44	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀬	3	80.60	79.64	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	本庄南	3	73.33	74.50	14	15	0	0	2	1	0	1	0
	深谷ノース	3	67.61	87.41	33	35	0	0	2	0	0	2	1
合計(11RC)		73.95	78.38	366	369	0	2	11	8	-2	3	19	
第5グループ	熊谷	4	62.11	74.31	88	89	1	1	6	5	0	1	4
	行田	4	64.00	72.56	60	67	1	1	10	3	0	7	5
	羽生	4	67.35	70.46	47	49	0	0	2	0	0	2	4
	加須	2	82.39	74.43	28	29	1	0	2	1	1	1	0
	熊谷西	2	68.50	71.39	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	行田さくら	4	59.40	69.28	41	48	0	0	7	0	0	7	1
	熊谷東	4	60.01	63.60	28	30	0	0	3	1	0	2	2
	吹上	4	93.25	92.13	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷籠原	4	84.00	88.96	25	25	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	3	56.67	51.26	19	20	0	0	1	0	0	1	1
合計(10RC)		69.77	72.84	359	380	3	2	31	10	1	21	17	

総グループの合計(51RC)

出席率(%)		上段・51クラブ男性会員数(人)/下段・女性会員数							
3月	通算	年初	3月末	3月入会数	3月退会者	本年度入会数	本年度退会者	3月度純増数	本年度純増数
78.84	80.43	1517	1567	9	9	95	45	0	50
		90	88	0	0	4	6	0	-2